会12月定例会 八峰町議

町長の行政報告を お知らせしま

八峰町議会12月定例会が15日から17日までの会期で開かれ、町長の 行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。 町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

図りながら準備を進めており、

具体的

本郡医師会等関係機関などと調整を

皆様に情報を提供してまい

ります。

な計画が整い次第、

遅滞なく、町民の

ます

医療従事者等の方々

への3回目

くは4月に終了した医療従事者等、先具体的には、2回目の接種が3月若し

した人に接種することとされており

から原則、

おおむね8ヶ月以上経過

の3回目接種は、

2回目接

行接種された方々が主な対象者であり

なお、医療従事者等への3回目接種目の接種券を送付したところです。目の接種券を送付したところです。関で開始されており、町では、11月26度、今月から能代市山本郡内の医療機

については、

町営診療所でも令和4年

いるところです。

また、

旬からの開始を目途に、、3回目の集団接種につ

能代市

いては、

1月には開始できるよう準備を進めて

方創生臨時交付金事業新型コロナウイルス感染症対応地

漁業 30 4、 36 4、 述べ96件の個人や事業所に対し、総額農業・製造業を含むその他事業11件、飲食・小売・食品製造等22件、 「事業継続臨時給付金」 日時点で、 サ ービス業9件、 建設・建築業13件、 については 産直施設

度は42万3,3 す 年度35万3 68万8千円を支援いたしまし 1件あたりの給付金額は、 833円となっており 330円に対し、

新型コロナウイルスワクチン

民割」との併用が可能であることから内旅行の増加や秋田県が実施する「県す。はっぽう割は、コロナ禍による県予算執行率は82.5%となっておりま 内宿泊助たり最大 合計は1, 事業所の個人利用は延べ3, |棟貸切利用は122件、 「助成事業(はっぽう割)」に 11月末時点において、 980万5,965円で、 田県在住者を対象に1泊あ 0

業」を始め、

ズコロナ」下での社会経済活動 国では、新型コ 人流抑制等の影響 ロナウイルス 今年

非常に好評を得ています。 まっぽう割)」についていまっぽう割)」についています。 助成金額の 833人 町 内 7

了いたしました。
が象とした「臨時給付金支給事業」な対象とした「臨時給付金支給事業」な 「プレミアム付商品券発行事 子育て世帯や大学生等を

また、国では、よろしくお願い点 好調に推移していることから、今定処と「宿泊助成事業」につきましては、 会に関連予算を提案しておりますので なお、 「事業継続臨時給付金事業」 し上げます。 今定例

「ウィ 必要な事業を実施できるよう、 地方公共団体が地域の実情に応じて を受ける事業や生活・暮らしへの支援 感染症の拡大防止、 の再開等により地方創生を図るため

おりますので、 階で新たな事業を提案することとして 情報収集に努め、 し上げます への交付金額等を含め、 る予定となっています。 併せてよろしくお願 明らかになった段 事業内容

業 済活動の活発化による原油価格の高騰さらに、コロナ禍からの世界的な経 願い申し上げます。 を支援する「稲作農家緊急支援事業」 3年産主食用米の作付けに係る種子 大な影響を与えていることから、 金単価が大幅に下落し、農業経営に多 灯油購入費を支援する「暖房費支給事 与えることから、 寒期を迎える一般家計に大きな影響を も提案しておりますので、 および令和3年産主食用米の 灯油価格が上昇し、 非課税世帯を対象に 本格的な厳 よろしく 令和 仮渡

再エネ海域利用法に基づく協議会

され、 ける協議会」の第3回目の会合が開催 6 月 29 日、 「秋田県八峰町及び能代市沖に 意見交換を行いました。 再エネ海域利用法に基づ お

くつかの新たな考え方が盛り込まれてける協議会意見とりまとめ」では、いある「秋田県八峰町及び能代市沖におめ」と対比した場合、第2ラウンドで 鹿市沖における協議会意見のとり す「秋田県能代市、三種町および男」については、第1ラウンドであり「本協議会における意見のとりまと ź と ていお

いることが評価されたものと思ってお極的に受け入れて交流人口を確保して社団体等の収穫体験、視察研修等を積あることを活かし、町内小中学校や福 ているほか、カミツレ収穫が手作業で 業体制を確立し、特産品開発を支援し レについても栽培指針と調整乾燥作 栽培を普及させていることやカミ、町が生薬原料の国内生産に着手

とともに、町が担っている調整乾燥作作業における周年運営の確立に繋げる面積の拡大を図ることで生薬調整報燎 な品目の 業を民間組織へ移管し、 在出荷実績のある2品目に加え、 今後の生薬栽培事業については、 |拡大を図ることで生薬調整乾燥| |の販売先確保に取り組み、栽培 産地化に取り組んでま の創 新た現



12月議会定例会に

おいれた。 おいのであります。 から盛り込まれたものであります。 から盛り込まれたものであります。 から盛り込まれたものであります。 から盛り込まれたものであります。 から盛り込まれたものであります。 ŋ いて、 に漁業影響調査を開始するには、 ことであり、 「実務者会議」の設置が明文化された 実務者会議については、 漁業影響調査手法の検討に係るプーロは、漁業への影響調査につ 事業者の選定後、 国からは、 速やか 事業

△

令和3年度一般会計補正予算

億3,269万7,000円を

増額

追加した主な歳出

特別支援事業およびふるさと交付金事業、子育て世帯臨時新型コロナ対応地方創生臨時

△八峰町国民健康保険条例の

を改正する条例制定について

る条例制定について

八峰町墓地条例の一部を改正す

八峰町公告式条例の一部を改正

する条例制定について

水産庁が、 合が、専門家としては、秋田県水産振秋田県漁業協同組合と峰浜漁業協同組と農林水産部が、漁業関係者としては の手法」を取りまとめています。洋上風力発電事業に係る漁業影響調査 「秋田県八峰町及び能代市沖における9月17日と10月29日に2回開催され、 環境研究所など17人がメンバーとなり 興センター 資源エネルギー庁、 なお、オブザー 教育機構、 座部が、漁業関係者としては、秋田県からは、産業労働部 国立研究開発法人水産研 公益財団法人海洋生物 バーとして、 国土交通省港湾局 能代市

令和3年度各特別会計補正予算

介護保険事業

55万8,000円を増額

染症の感染拡大防止のため取

りやめた事業予算の減額

等

積立金の追加、

新型コロナ感

納税寄附金の増加に伴う基金

と八峰町も参加しております。

を図っているものです

令和3年度各事業会計補正予算

簡易水道事業

26万2,000円を増額

38 万 4.

000円を増額

八峰町営診療所

11日に公告され、同日から8月51:備整備促進区域の指定の案」が、8月の整備を開発を表して、日本のでは、10日の15日に、日本のでは、11日に公告され、同日から8月5日に 市沖

額的支出に522万5千円を増

資本的収入に520万、

資本

水道事業

という発言から盛り込まれたものであ別の形で避難所の電気を確保できればの対応策として、既存の電力系統とはこと」であり、強風による大規模停電 の地域における活用に関して配慮する1つは、「洋上風力発電による電気 での縦覧期間を経て、9月13日に「促進区域」に指定されました。その後は、事業者を公募するにあたっての公募占用指針が定められ、12月10日に公募が開始されており、来年12月頃には事業者が選定される見通しとなっております。

に選定に選定 本町で取り組んで いる生薬

生薬栽培事業が

ŋ

えます。

内容の紹介を通して、全国的な情報発山漁村の宝アワード」として、それぞ山漁村の宝アワード」として、それぞ東北独自の特徴ある優れた取り組みに東北独自の特徴あるのにおいては、 事例を「ディスカバー農山漁村の宝」り組んでいる団体および個人の優良なとにより地域の活性化、所得向上に取村の有するポテンシャルを引き出すこ 東北農政局「ディスカバー農山漁村の栽培事業が、東北農政局が発表した、 信を行うとともに、 る農山漁村」の実現に向けて、が「強い農林水産業」「美しく 宝アワード」に選定されました。 農山漁村」の実現に向けて、農山漁「強い農林水産業」「美しく活力あ 内閣官房および農林水産省 他地域への横展開 |漁村の

に頼っていた生薬原料のキキョウにつはビジネス部門で選出され、海外輸入9地区2個人で、本町の生薬栽培事業 東北農政局が選定したの

広報はっぽう 2022.1月号